

## TOPICS

## プラスオートサービス別棟作業場増築工事

八戸市城下の「プラスオートサービス」敷地内に別棟作業場増築工事が進行中です。完成後は作業スペースが拡大されることにより、車検業務や修理・整備等が円滑に進む業務改善が見込まれます。4月より基礎工事、5月初旬に鉄骨建方、その後、土間コンクリート打設、屋根外壁工事等を行い、6月中旬完成に向けて工事に取り組んでおります



## TOPICS

## ユニオン建設より感謝状

5月18日、ユニオン建設様より感謝状をいただきました。昨年度における工事の安全管理体制と品質の高さを評価いただいたものです。今年度も継続して当表彰を拝受できるよう、従業員一同、一層の安全に対する意識向上、無事故無災害、工事品質の向上を目指し、工事を推進して参ります。



## SITE NOW

## 建築・土木各部門の工事進行現場



【八戸市】新大橋河原木跨線橋整備工事



【八戸市】悪虫線ほか道路修繕打換工事



【JR八戸線】災害復旧工事



【三菱製紙】構内修繕工事

## EDITOR'S NOTE

## 編集後記

今号からオバタゲンバグラフの編集担当となりました新人の沢口です。よろしくお願いいたします。

今年4月に入社、建築住宅部配属となりました沢口と申します。現在19歳で社内では最年少です。高校では建築を先行していましたが、実際に建築・土木の現場に臨むと分からないことがたくさんあります。一日でも早く戦力となれるよう、たくさんの現場を見て、勉強し、お客さまのご要望に応えられる建築士になりたいです。社会人としても、小幡建設工業の一員として信頼される言動を心がけながら、自分の長所を生かしていければと思います。

【PROFILE】 沢口 沙也(さわぐち さや) 建築住宅部 建築住宅サービス課  
2001年生/八戸工業大学第一高等学校工業科建築コース卒業



小幡建設工業株式会社  
<http://www.obatakensetsu.co.jp>  
☎ 0178-22-1121



オバタホーム  
<http://www.obatahome.jp>  
☎ 0178-47-6886

本 社 〒031-0072 青森県八戸市城下4丁目22-33  
三菱製紙内出張所 〒039-1197 青森県八戸市大字河原木字青森谷地

©OBATA GENBA GRAPHは小幡建設工業株式会社が発行するフリーペーパーです。

## OBATA GENBA GRAPH

2020年 初夏 小幡建設工業株式会社 [オバタ・ゲンバ・グラフ]



ものづくりは  
安心づくり。



## CLOSE UP

創業70周年に向けた「オバタホンネ座談会」  
提供する価値向上のために  
新たなチャレンジを

## INFORMATION

プラスオートサービス別棟作業場増築工事  
ユニオン建設より感謝状  
建築・土木各部門の工事進行現場  
編集後記



小幡建設工業株式会社 土木部

中村 一幸 (なかむら かずゆき)

1979年生41歳、八戸工業高等学校卒業。2012年入社。多くの人の力を借りてなせる建設業だから、共に働く方々に気を配り、方針を定めることで、安全で丁寧な施工となるよう常に心掛けている。





創業70周年に向けた「オバタホンネ座談会」

# 提供する 価値向上のために 新たなチャレンジを

小幡建設工業は今年おかげさまで創業70周年を迎えることができました。現場業務に関する意見交換は日常的に行われているものの、“会社の未来”について、部署や役職を超えて膝を突き合わせた議論の機会は設けていませんでした。今回初開催の「オバタホンネ座談会」は実験的な試みでしたが予想以上の“ホンネ”や具体案が見出せたことから、今後もコンスタントに開催すべき、という収穫もありました。今号では座談会の様子をダイジェストでレポートいたします。

2020年、小幡建設工業はおかげさまで創業70周年を迎えます。5月上旬、新型コロナウイルス感染症対策のため主な工事現場が休止となった機会を利用し、70周年準備委員会メンバーの中から4名と代表の小幡を加えた5名による初の「オバタホンネ座談会」を行いました。すでに準備委員会では、目標や行動指針についての社員個別アンケートを行っているものの、部署や役職を超えて一堂に会する座談会は初開催。序盤は差し障りのない意見交換だったものの、後半は“ホンネ座談会”と称するに値する熱い議論も交わされました。代表の小幡からは「アフターコロナのさらに厳しい経済情勢では、コストダウンではなく、本来のVE（バリューエンジニアリング）を小幡流で突き詰める必要がある。お客さまに提供する価値の向上のために新たなチャレンジを」という意見。取締役の川又からは「小幡には不足している女性ならではのきめ細かな配慮を生かしたアプ

ターサービス部門を新設したい」という具体案。他にも「会社全体の成長を促すために部署を超えた現場での反省会はどうか?」（豊川）、「社員一人ひとりの知識や技術を磨き、新たな技術を開発するための機会がもっと欲しい」（下館）、といった意見も出ました。さらに、建築住宅部の佐々木からは「新卒社員など新人も増えている中で、新たな挑戦や提案がもっと発表され、生まれやすい、よりオープンな職場環境にしていきたい」という意気込みも聞かれました。激動の2020年。70周年を振り返りの節目としてだけでなく、今回のような部署や役職を超えた“ホンネ座談会”をコンスタントに開催することが必要、という未来志向の具体案を見出すことができました。小さなステップですが、お客さまに提供するサービスや商品の価値向上のため、これからも新たなチャレンジを積み重ねて参ります。

小幡 千裕  
代表取締役社長

小幡ならではの「新VE」を突き詰めたい

川又 文男  
取締役 工務部部长

女性のきめ細やかさを生かした新分野を

豊川 徳悦  
建築住宅部

部署を超えた反省会で成長を促す

下館 勝典  
建築住宅部

知識・技術を磨き開発する機会を増やす

佐々木 嘉信  
建築住宅部

新たな挑戦や提案が生まれやすい環境を